



令和元年10月16日
海上保安庁

未知の^{うみ}洋に光を！

～新しい測量船の船名が決まりました～

令和2年度に新たに就役する大型の測量船の船名について、『光洋（こうよう）』に決まりました。

海上保安庁の測量船は、海上交通の安全確保、海洋権益の確保といった様々な目的のために、我が国周辺海域において海洋調査に従事しています。（別紙参照）

『光洋』の船名は、昨年6月に実施した一般公募において、国民の皆様から応募いただいた多数の船名候補の中で、応募数が多かったことなどを踏まえ、選考を行った結果、「光り輝く海、まだ十分に解明されていないその海に光を当てて、海洋調査を進め明らかにしていくという思いを込めて」決まったものです。

就役後の『光洋』は、海底地形調査等の海洋調査に従事し、特に我が国の海洋権益の確保において重要な役割を担っていきます。

（注）測量船のイメージ図です。
総トン数：約4,000トン
全長：約103メートル



測量船による海洋調査



泥などの海底堆積物を採取する機器の投入作業



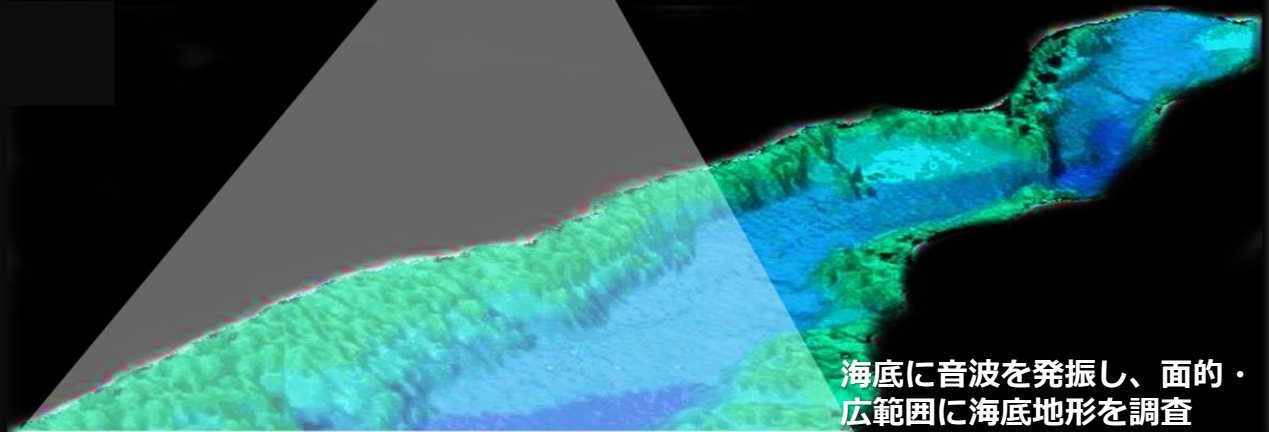
採水器を使った海水の採取作業



地殻構造調査に使用する音波の発信装置と受信装置



観測データの解析作業



海底に音波を発振し、面的・広範囲に海底地形を調査